



■スローガン 「共に学ぶ 共に創る みんなの 萩窓小学校」

教育目標 ◎美しい心の子ども ○深く考える子ども ○たくましく生きる子ども

令和4年度 開校71周年 エコ・スクール14年目 コミュニティスクール10年目

学級数 1年4学級, 2年5学級, 3年4学級, 4年4学級, 5年4学級, 6年4学級, 計25学級

児童数 1年106名, 2年151名, 3年124名, 4年115名, 5年128名, 6年107名, 計731名

区分	重点目標	目標実現の方策
基本方針	心を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 「人にやさしく、自分も友達も大切に思う」子供の育成 「学校いじめ防止基本方針、全体計画」に基づいた実践 いじめ防止対策委員会、いじめ問題解決のための研修の実施 「考え、話し合う」道徳授業の充実 「人権メッセージ」の年間通じての取組 心を育てる書の学び「言葉のチカラ」（穂苅先生 全学年展開） 異学年交流の実施、なのはな生活園との交流 オリンピック・パラリンピック教育の推進
	一人一人を大切に	<ul style="list-style-type: none"> 全学級における特別支援教育の展開 校内委員会を中心とした組織的指導 通常の学級と特別支援教室「すまいる教室」の連携指導の強化 特別支援教室「すまいる教室」の効果的な指導の充実 講演会、研修会の開催 副籍交流の充実
	つながりを活かす	<ul style="list-style-type: none"> 子幼保小連携、小中連携の強化 学びの「連続性」 交流活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 中学校授業体験・部活動体験・合唱披露・職場体験 保育園児学校訪問・作品交流等の実施 小学校スタートカリキュラムの検証 学習指導を軸にした教職員交流の推進 授業参観等 子幼保小連携、小中連携の交流会・研修会の開催
	広い目を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 自分ごととして環境問題を考える子供の育成 「エコ・スクール」を活用した萩小環境学習プログラムの改善 <ul style="list-style-type: none"> 日本建築学会や区環境ネットワークと連携した環境学習 自然や環境にやさしい子の育成（ビオトープの積極的活用） 「杉並区小中学生環境サミット」への参加 地域、家庭への環境行動の啓発 「子供エコ・ツアーや、「地域・保護者向けエコ・ツアーや」の実施
学習指導	○授業力の向上 (学習指導要領に基づく新しい学習の創造)	<ul style="list-style-type: none"> 「学ぶ子供を育てる」をキーワードに「問い合わせ、考え、話し合う」授業づくりの全教科展開 学習指導要領の理解と実践（主体的・対話的で深い学びの創造） ICTを積極的に活用した授業の展開（タブレット端末を活用した学び合い）「個別最適な学び」と「協働的な学び」 授業規律、学習スタンダードの徹底、ねらいと見通しが明確な学習の推進 「家庭学習」の充実 子どもの学習マネジメント力の育成 地域の人材を活用した体験的な学習 「肌感覚・心感覚」

生活指導	○全校による生活指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を大切にする指導（日常的によりそう時間の確保） ・「荻小スタンダード」振り返りアンケートによる実態調査 ・学校いじめ防止基本方針・全体計画の確実な実施 「いじめのアンケート、いじめ防止学習プログラム」等 ・子供自らが創る安全・安心な環境 「人にやさしく、自分も友達も大切に思う」子供 ・組織的な対応、管理職への迅速な報告、連絡、相談
校内研究	○主体的・対話的で深い学びの実現を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・「学ぶ子供を育てる」をキーワードとした主体的・対話的な授業の充実「個別最適な学び」と「協働的な学び」 ・研究推進委員会による推進、全学年による研究授業 ・実践的な研究の展開 ・子供の変容をとらえ、よりよい学びを創る ・「学びの構造転換」の実施
体力向上	○年間を通して全校で取り組む体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な体力づくりの推進（「荻小パワーカード」の取組） ・体力調査の分析と授業改善 ・日常的な運動環境の充実 ・栄養教諭、家庭科専科、担任の連携による食育の充実
特別活動	○子供が中心となった特別活動・学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやりの心」を育む特別活動の展開 ・高学年への「あこがれ」低学年への「やさしさ」 ・異学年交流「さくら草まつり」「なかよし班」活動の充実 ・委員会・クラブ活動の主体的な運営 ・JRC（青少年赤十字）活動の効果的活用
学校運営	○学校運営協議会の運営（コミュニティスクール） ○学校支援本部等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の学校運営協議会（CS委員会）の開催 ・学校運営協議会委員と教職員の交流会の開催 ・学校関係者評価の実施 ・学校支援本部の協力による教育活動の推進 ・地域や保護者の力を生かした土曜授業の開催
その他	○安全な教育活動 ○人材育成 ○情報発信 ○環境整備 ○節電 ○服務事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防を第一に、安全な学校生活を ・主幹・主任教諭等による組織的・計画的な人材育成 ・指導教授による若手教員研修、中堅教員研修と連携した毎学期1回以上の研究授業 ・学期1回の授業観察・指導 ・学校便り、保健便り、給食便り、SC便り、学年便り、学級通信等の充実 ・学校ホームページからの積極的な情報発信 ・教室、特別教室、職員室等の、整理・整頓・清潔・掃除の徹底 ・節電の徹底（エコシステム校舎のメリットの理解と活用） ・日常的なミニ服務研修及び服務研修（年間3回）の開催



サクラソウ

